

令和8年度 第1学年
算数科 評価規準

江戸川区立西一之江小学校

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	なかよしあつまれ	5	・ものとものとを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。＜知・技＞	・観点に応じて、身のまわりのものの集合を捉えている。＜思・判・表＞	・数や形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	1. いくつかな	3	・10までの数及び0の意味や、数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。＜知・技＞	・数を用いる具体的な場面に着目し、数の大きさや順序を具体物や図などを用いて考えている。＜思・判・表＞	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
5	1. いくつかな	5	・10までの数及び0の意味や、数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。＜知・技＞	・数を用いる具体的な場面に着目し、数の大きさや順序を具体物や図などを用いて考えている。＜思・判・表＞	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	2. なんばんめ	4	・個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。また、前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。＜知・技＞	・集合数と順序数を用いる具体的な場面に着目し、それらの違いを具体物や図などを用いて考えている。＜思・判・表＞	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	3. いまなんじ	1	・日常生活の中で時刻をよむことができる。＜知・技＞	・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。＜思・判・表＞	・時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	4. いくつといくつ	4	・1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるることができる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、ある数を合成・分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。＜思・判・表＞	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
6	4. いくつといくつ	3	・1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるることができる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、ある数を合成・分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。＜思・判・表＞	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	5. ぜんぶでいくつ	9	・加法の意味（増加、合併）や式について理解し、1位数＋1位数で繰り上がりのない加法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	6. のこりはいくつ	3	・減法の意味（求残、求補）や式について理解し、1位数－1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
7	6. のこりはいくつ	4	・減法の意味（求残、求補）や式について理解し、1位数－1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	いったりきたり	1	・10までの数について、大小を比べたり差を求めたりすることができる。		
	7. どれだけおおい	3	・減法の意味（求差）を理解し、式に表して計算することができる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7	さんすうなつやすみ	1	・加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。		
	予備	2			
9	8．10より大きいかず	10	・30程度までの数の数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 ＜態度＞
	9．かずをせいりして	2	・ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができる。＜知・技＞	・データの個数に着目し、身のまわりの事象の特徴を捉えている。＜思・判・表＞	・数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 ＜態度＞
	10。かたちあそび	1	・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。＜知・技＞	・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。＜思・判・表＞	・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 ＜態度＞
10	10。かたちあそび	4	・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。＜知・技＞	・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。＜思・判・表＞	・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 ＜態度＞
	こうていでさんすう	1	・加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。		
	11．3つのかずのたしざん、ひきざん	4	・3口の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	1 2．たしざん	4	・1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解し、加法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
11	1 2．たしざん	4	・1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解し、加法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	1 3．ひきざん	8	・十何－1位数で繰り下がりのある減法の意味や計算のしかたを理解し、減法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	どこにあるのかな	1	・上下、左右、前後などの言葉を用いて、2方向からのものの位置を表すことができる。		
12	1 4．くらべかた	9	・長さ、かさ、広さなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身のまわりにあるものの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比べることができる。＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。＜思・判・表＞	・身のまわりにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 ＜態度＞

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
12	さんすうでふゆじたく	1	・20までの数の順序、系列を理解するとともに、繰り上がりのある加法及び繰り下がりのある減法の計算ができる。		
	予備	7			
1	1 5．大きなかず	10	・2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序を理解するとともに、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算ができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
2	1 5．大きなかず	1	・2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序を理解するとともに、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算ができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	1 6．なんじなんぷん	3	・日常生活の中で時刻をよむことができる。＜知・技＞	・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。＜思・判・表＞	・時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	おなじかずずつにわけよう	1	・おはじきを同じ数ずつに整理して分けたり、それを式に表したりすることができる。	・1つの数を同じ数のまとまりとしてみたり、等分した数としてみたりして、多面的に捉えている。	
	1 7．どんなしきになるのかな	5	・順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	1 8．かたちづくり	2	・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。＜知・技＞	・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。＜思・判・表＞	・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
3	1 8．かたちづくり	3	・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。＜知・技＞	・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。＜思・判・表＞	・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
	1年のまとめ	3	・第1学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。		
	プログラミングにちょうせん「めざせ！にんじん！」	1			
	もののかずのかぞえかた	1	・いろいろなものを数えるときの助数詞について身につけている。		
	予備	2			

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3					